

第6学年 社会科 授業構想シート

授業者 平井 千恵

本実践の主張点	人物を手がかりとして追究させることにより、当時の人々の関係やはたらきについて主体的に探究する児童が育つであろう。
---------	--

1. 単元名 「国力の充実をめざす日本と国際社会」

2. 6年C組の子ども

本学級は、歴史に興味・関心のある児童が多い。特に資料から読み取ったことを全体共有する場面では、ほとんどの児童が挙手し、友達の情報に付け足したり、つなげたりする姿がしばしば見られる。振り返りでも、疑問をもったり、全体で話し合ったことについて自分の意見を素直に表現したりできている。しかし、疑問について自主的に探究しようとする児童は少なく、そのままになっている児童が大半である。また、調べたことについて発表することで満足し、それがなぜなのか等、深く掘り下げて考えるところにはまでは達していない。

3. 何ができるようになるか

探究力	省察性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事象と人物の関係をつなげて考える（関係把握力） ・ 事象について多面的に考える（思考力・判断力・表現力） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を見比べる（関係把握力を支える省察性） ・ 複数の資料から総合的に判断する（思考力・判断力・表現力を支える省察性）

4. 何を学ぶのか

① 単元の目標

大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展などについて追究・解決する活動をとおして、わが国の国力が充実し、国際的地位が向上したことがわかる。

② 教材の価値

本単元は、これまでの単元と比べて現在の日本の状況と似ている部分が多いので、子どもたちは現在の状況と比較しながら各事象を捉え、考えることができる。また、条約改正については、和歌山県出身の陸奥宗光の業績があり、時代を切り開いた先人を身近に感じられるであろう。したがって、本単元では、先人の業績を手がかりに日本の国力の充実と国際的地位が向上したことについて理解するとともに、歴史を学ぶ意味（自分たちの生活と過去の出来事とのかかわりや、現在および将来の発展）についても考えるために適した単元であるといえる。

③学年間・教科間のつながり

国語科単元で「学級討論会をしよう」として、相手の意図を捉えて聞いたり、根拠をもって主張したりする学習、「意見文を書こう」では反論を予想した主張を考える学習、また、具体を抽象にまとめたり、文章を1文にまとめる学習をしている。本単元においても、これらの活動を設定することで、話す・聞く・まとめる力を働かせ、社会科のねらいに迫ることができると思う。

5. どのように学ぶのか

①働かせたい思考スキル

くらべる つなげる まとめる 広げる 予想する 見方を変える

③ 学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程

<p>単元計画（全 10 時間） 本時 9/10</p> <p>第1次</p> <p>1時 西南戦争後、日本はどのように変わっていくのかについて学習の見通しをもつ。(思・判・表)</p> <p>2時 自由民権運動の高まりから、政府は憲法を制定し立憲政治を確立したことや、国民の政治参加の面では不十分であったことを捉える。(知・技)</p> <p>3時 政府が条約改正に努め、王維英諸国との対等関係の構築に努力したことを読みとる。(知・技)</p> <p>4時 陸奥宗光について調べ、和歌山県の偉人として時代を切り拓いた先人を身近に感じる。(知・技)</p> <p>5時 日清・日露戦争を経て日本の国際的地位が向上し、朝鮮半島に勢力を拡大したことを理解する。(知・技)</p> <p>6時 韓国併合前後に日本がとった政策やそれに対する抵抗運動を調べ、朝鮮の人々の思いを考えることができる。(知・技)</p> <p>7時 日本の産業や暮らしの様子、世界で活躍した日本人などについて調べ、国力の充実との関わりを捉える。(知・技)</p> <p>8時 明治・大正の人々の暮らしについて当時の人々が自由と権利を求めて立ち上がったわけについて考える。(思・判・表)</p> <p>第2次</p> <p>9時 日本の国力が充実していったことについて自分の考えをもつ。(思・判・表)</p> <p>10時 学習した内容と現在の生活を比べ、自分の考えをもつ。(思・判・表)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="text-align: center;">単元における授業づくりのしかけ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">探究力を育む</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・人物の業績と事象との関係について探求する意欲を高めるために、討論会を設定する。 ・人物に焦点をあて、気持ちを考えさせることで自分事として考えさせる。 ・身近な問題を取り上げ、学んだことを活用して自分はどうするかについて考えさせる。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">省察性を育む</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・立場を変えて考えさせる。 ・授業後の振り返りの視点を与える。 ・学習全体を振り返って考える問いを与える。 </td> </tr> </table>		単元における授業づくりのしかけ	探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の業績と事象との関係について探求する意欲を高めるために、討論会を設定する。 ・人物に焦点をあて、気持ちを考えさせることで自分事として考えさせる。 ・身近な問題を取り上げ、学んだことを活用して自分はどうするかについて考えさせる。 	省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・立場を変えて考えさせる。 ・授業後の振り返りの視点を与える。 ・学習全体を振り返って考える問いを与える。
	単元における授業づくりのしかけ						
探究力を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の業績と事象との関係について探求する意欲を高めるために、討論会を設定する。 ・人物に焦点をあて、気持ちを考えさせることで自分事として考えさせる。 ・身近な問題を取り上げ、学んだことを活用して自分はどうするかについて考えさせる。 						
省察性を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・立場を変えて考えさせる。 ・授業後の振り返りの視点を与える。 ・学習全体を振り返って考える問いを与える。 						

6. 何が身に付いたか

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	資料を調べ、日本の近代化や条約改正、欧米諸国との関係について理解している。	この時代の歴史的な事象を具体的に調べ、人々の働きを考えることで、それらについて考えたことを表現している。	新政府が進めた新しい国づくりに活躍した人物や事象について関心を持ち、意欲的に調べ、考えようとしている。